

令和元年度第2回鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会

日 時	令和元年10月24日(木) 13:25~14:53
場 所	鹿児島市水道局 2階 第1会議室
出席者	北村会長、上川路委員(副会長)、川畑委員、京田委員、藤田委員、塩満委員、満園委員、徳納委員、田平委員 (9名)
市出席者	水道事業及び公共下水道事業管理者、総務部長、水道部長、経営管理課長、経理課長、料金課長、給排水設備課長、水道整備課長、水道管路課長、配水管理課長、下水道建設課長、下水道管路課長、下水処理課長、総務課職員係長、下水道建設課計画係長、経理課会計係長、経営管理課財政係長、経営管理課企画係長、企画係職員 (19名)
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 管理者あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の平成30年度決算について (2) 上下水道事業経営計画に掲げる実現方策の平成30年度実施状況について 4 その他 5 閉会

議題(1) 水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の平成30年度決算について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	両事業とも減収の状況の中で、どれだけ経営を適正に行っていくか。その努力の結果として、前年度と比較して水道事業は減収増益、下水道事業は、減収減益である。審議会として、決算は評価できるのではないか。

議題(2) 上下水道事業経営計画に掲げる実現方策の平成30年度実施状況について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	収納方法を増やす予定はあるか。
事務局	クレジットカード払いは手数料が高く、今のところ進んでいない。
委員	水の使用量が減り、収入が減ってきているが、耐震化や老朽化対策などへの影響は今後考えられないだろうか。
事務局	収益が下がっている中で耐震化などへの計画への影響については、確かに厳しい状況下にあるが、利益は出ている中で必要な投資をしていく。しかし、いっぺんに投資をしていくことは難しいので、可能な限り使えるものは長く使っていく必要がある。
委員	耐震化や老朽化対策に対して、国庫補助はあるのか。
事務局	現在水道事業で行っているものは、国庫補助はない。 下水道事業は、国庫補助金の制度はある。事業費の半分を拠出していただける。